

Infosys、Ashiss Kumar Dash（アシシュ・クマール・ダッシュ）を次期 CEO に任命

リーダーシップ移行は 2027 年 4 月 1 日付で実施予定

2026 年 7 月 23 日、インド・ベンガルール発 — AI ファーストのビジネスコンサルティングおよびテクノロジーサービスのグローバルリーダーである Infosys（NSE、BSE、NYSE: INFY）は本日、Ashiss Kumar Dash（アシシュ・クマール・ダッシュ）を次期 CEO に任命したことを発表しました。本任命は、Infosys 取締役会の指名・報酬委員会の推薦に基づくものであり、株主承認を前提として、5 年間の任期が予定されています。

Dash は現在、複数の業界セクターから構成されるグローバル事業ポートフォリオを統括しており、2027 年 4 月 1 日付で、9 年以上にわたる Salil Parekh の 2 期目の任期満了に伴い、代表取締役社長兼 CEO（Managing Director & Chief Executive Officer）に就任する予定です。

Dash は 30 年以上にわたり Infosys に在籍し、顧客ビジネス、デリバリー、グローバルオペレーション領域において、世界各地で数々の上級リーダー職を歴任してきました。また、全社のサステナビリティ事業も統括しています。これまで一貫して優れた業績を上げるとともに、お客様の複雑なビジネス変革およびテクノロジー変革を支援し、高い成果を創出するグローバルチームを構築してきました。取締役会は、Dash が持つ戦略的視点と事業運営能力、そして大規模テクノロジー導入経験の組み合わせが、Infosys を AI 主導の次なる成長ステージへ導く上で最適であると判断しています。

インフォシス取締役会会長、ナダン・ニレカニは次のように述べています。「取締役会は Dash を次期 CEO に任命できることを大変喜ばしく思います。当社が属する業界は現在、大きな変革期を迎えています。次期 CEO には、大胆な変革を推進する能力と、Infosys の価値観およびお客様からの信頼を守り続ける判断力の両方が求められると考えていました。この役割を社内から選出できたことを大変誇りに思います。また、取締役会を代表して、9 年以上にわたり卓越したリーダーシップを発揮してくれた Salil にも感謝します。Salil のリーダーシップの下、Infosys は市場での地位を大きく向上させ、事業能力を拡充し、株主価値を高め、将来の成長基盤を構築しました。同氏は当社の事業変革を成功に導き、デジタル時代におけるリーダーシップを確立するとともに、差別化された AI 戦略の礎を築いてきました。Salil は 2027 年 3 月 31 日まで CEO として職務を継続し、Dash と密接に連携しながら円滑な経営移行を進めていきます。」

インフォシス代表取締役社長兼 CEO、サリル・パレクは次のように述べています。「このような名誉ある企業の経営を担い、世界を代表する企業のお客様と協業し、素晴らしいチームと共に歩めたことを大変光栄に思います。私の 2 期にわたり、Infosys の売上高を 100 億ドルから 200 億ドル超へと成長させることができました。

また、Infosys をデジタル変革のリーダー企業へと発展させ、独自性の高い AI 変革戦略を確立しました。この過程で、One Infosys の理念のもと、強固な経営チームを構築することができました。長年 Dash と共に働く中で、彼の誠実さ、お客様第一の姿勢、そして変革を推進するリーダーシップを間近で見てきました。彼はお客様、事業、そして社員に対する深い理解を有しており、Infosys の次なる成長段階を率いるためのビジョンと能力を兼ね備えています。今後数か月にわたり、円滑で成功裏な移行に向けて引き続き彼と協力していくことを楽しみにしています。」

Infosys 次期 CEO (CEO Designate) アシシュ・クマール・ダッシュは次のように述べています。

「取締役会から信任をいただき、大変光栄に思うと同時に、Infosys の次の章を率いる機会に大きな期待を抱いています。また、これまで長年にわたりご指導いただいた Salil に心より感謝申し上げます。今後も緊密に連携し、円滑な移行を実現していきます。テクノロジーは新たな時代へ突入しており、AI は企業の価値創出や事業運営の在り方を根本から変えています。Infosys はこの新たなステージを迎えるにあたり、明確な AI 戦略、卓越した人材、強固なお客様との関係、世界中で信頼される企業価値観という大きな強みを有しています。私はこれらの強みをさらに発展させながら、イノベーションを加速し、能力を拡充し、お客様が AI 主導の世界で成功できるよう支援していきます。優れた経営チーム、社員、お客様、パートナーの皆さまと共に、Infosys の次なる成長ストーリーを築き、すべてのステークホルダーへ持続的な価値を提供していきたいと考えています。」

Ashiss Kumar Dash (アシシュ・クマール・ダッシュ)

上級執行役員 兼 グローバル事業責任者〈サービス、公益事業、資源、エネルギーおよびエンタープライズ・サステナビリティ担当〉



アシシュ・クマール・ダッシュ（以下、Dash）は、12 を超える業界セクターで構成されるグローバル事業ポートフォリオの責任者として、Fortune 500 企業および Global 2000 企業をはじめとする世界有数の企業のデジタル変革を支援しています。30 年以上にわたる豊富な経験を持つデジタルトランスフォーメーションのリーダーとして、先進技術の活用を通じた変革戦略の推進と、産業の未来創造に取り組んでいます。

30 年以上にわたる多様な職務経験を通じて培われた知見を生かし、担当事業におけるデリバリー、オペレーションおよび財務面での卓越した成果の実現を牽引しています。売上成長の推進に加え、イノベーションの定着、AI を活用したビジネス変革の推進、そして新しい働き方の実現にも注力しています。

Dash は、「多様な視点こそが、より広い視野をもたらす」と考えています。その考えのもと、世界経済フォーラム（World Economic Forum : WEF）や国連の「Global Investors for Sustainable Development Alliance（GISD Alliance）」などの国際的なフォーラムを通じて、エネルギー・トランジションや持続可能な開発に関するグローバルな議論に積極的に参画しています。

現在、北米の公共機関向けに次世代デジタルサービスおよびコンサルティングを提供する Infosys Public Services、および MRE Consulting LLC の取締役を務めています。両社は Infosys の 100% 子会社です。また、米国の K-12（幼稚園年長から高校まで）の生徒および教育者に対するコンピュータサイエンス教育とメイカー教育へのアクセス拡大を使命とする Infosys Foundation USA の理事も務めており、地域社会のデジタルスキル向上にも尽力しています。

Dash は、インド工科大学カラグプール校（Indian Institute of Technology Kharagpur）を卒業しています。また、スタンフォード大学の Global Leadership Program およびロンドン・ビジネススクールの Senior Executive Program を修了しています。

熱心な読書家でもある Dash は、現在ロサンゼルスを拠点としており、ランニング、水泳、マインドフルネスの実践を趣味としています。

About Infosys

[Infosys](#) (NSE, BSE, NYSE: INFY) is a global leader in AI first business consulting and technology services. Over 325,000 of our people work to amplify human potential and create the next opportunity for people, businesses, and communities. As navigators of enterprise transformation, we enable businesses in 59 countries to unlock AI value at scale. With over four decades of experience in managing the systems and workings of global enterprises, we accelerate business transformation through our AI-first value framework, deep domain expertise, and our unique ability to orchestrate innovations from our AI-native partner ecosystem. Infosys is recognized as the fastest growing IT services brand globally, committed to being a well-governed, environmentally sustainable partner for our clients where deep talent expertise, in an inclusive workplace, help them navigate their next.



Safe Harbor

Certain statements in this release, including those concerning our future events, future growth prospects, our future financial or operating performance and our offerings and collaborations are “forward looking statements” intended to qualify for the ‘safe harbor’ under the Private Securities Litigation Reform Act of 1995. Such forward-looking statements are based on our current expectations, assumptions, estimates and projections about the Company, our industry, economic conditions in the markets in which we operate, and certain other matters. These forward-looking statements are subject to substantial known and unknown risks, uncertainties and other factors, that could cause actual results or outcomes to differ materially from those implied by such forward-looking statements. Important factors that may cause actual results or outcomes to differ from those implied by the forward-looking statements include, but are not limited to, risks and uncertainties regarding the execution of our business strategy, increased competition for talent, our ability to attract and retain personnel, increase in wages, investments to reskill our employees, our ability to effectively implement a hybrid work model, economic uncertainties and geo-political situations, technological disruptions and innovations such as artificial intelligence, the complex and evolving regulatory landscape including immigration regulation changes, particularly in the United States, our Environmental, Social, Governance (“ESG”) vision, our capital allocation policy and expectations concerning our market position, future operations, margins, profitability, liquidity and capital resources, our corporate actions including acquisitions, cybersecurity matters, the outcome of pending litigation and the US government investigation, and the effect of current and future tariffs. These and additional factors that may cause actual results or outcomes to differ from those implied by the forward-looking statements are discussed in more detail in our US Securities and Exchange Commission filings including our Annual Report on Form 20-F for the fiscal year ended March 31, 2026. These filings are available at www.sec.gov. In light of these and other uncertainties, you should not conclude that the results or outcomes referred to in any of the forward-looking statements will be achieved. Infosys may, from time to time, make additional written and oral forward-looking statements, including statements contained in the Company's filings with the Securities and Exchange Commission and our reports to shareholders. The Company does not undertake to update any forward-looking statements that may be made from time to time by or on behalf of the Company unless it is required by law.

Media contact

For more information, please contact: PR_Global@Infosys.com

メディア関連

インフォシスリミテッド 東京オフィス

マーケティング担当 安藤 jo_ando@infosys.com